

平成 29 年度「特別支援教育に関する実践研究事業（次期学習指導要領に向けた実践研究）」  
成果報告書

受託団体名	京都府教育委員会
-------	----------

## I 概要

### 1 モデル校の一覧

設置者	学校種	課程又は障害種	学校名（ふりがなを付すこと）
京都府	特別支援学校	知的・肢体不自由	きょうとふりつやわたしえんがっこう 京都府立八幡支援学校
京都府	特別支援学校	聴覚	きょうとふりつろうがっこう 京都府立聾学校
京都府	特別支援学校	知的・肢体不自由	きょうとふりつたんばしえんがっこう 京都府立丹波支援学校

### 2 研究課題

特別支援学校新学習指導要領の実施に向け、「主体的・対話的で深い学び」や「社会に開かれた教育課程」を軸に、3つの指定校で教育課程及び授業改善の実践研究に取り組む。

### 3 研究の概要

#### 【府立八幡支援学校】

「社会に開かれた教育課程」を具現化するために、『交流及び共同学習』を教育課程の中心に位置づけ、交流及び共同学習と教科別・領域別の指導、各教科等を合わせた指導における指導のねらいとの適切な関連の在り方について明らかにする。また、他の教科別・領域別の指導、各教科等を合わせた指導で培われた力が、どのように交流及び共同学習において発揮されたのかを検証し、生きる力を育む総合的な教育課程の在り方について研究を進める。

#### 【府立聾学校】

『魅力のある学校づくり』を合い言葉に、聴覚障害のある児童等にとって分かる授業づくり・授業改善の取組として、公開授業などをおして研究する。児童等の「主体的・対話的で深い学び」のある授業づくりを目指して『授業改善研究プロジェクト』チームを立ち上げ、つけておきたい基礎的な力、言語力の向上等について研究を進める。

#### 【府立丹波支援学校】

地域の特色を生かした実践を教育課程に位置づけ、児童生徒に地域社会で『豊かに生き抜く』力を育成する。また、児童生徒が地域で積極的に活動しその活動の様子を地域に発信するなど、「社会に開かれた教育課程」を具現化し共生社会の形成に貢献していくために、『授業改善』『社会に開かれた教育課程づくり』『交流及び共同学習』『地域との関係づくり』の4つの柱を軸とした実践的研究を進める。

## 4 研究の成果

### 【府立八幡支援学校】

『教育課程マネジメント年間指導計画』を作成し、教科別・領域別の指導と交流及び共同学習等の関係を可視化することができた。この成果を、『授業改善シート』に反映することで「主体的・対話的で深い学び」を意識でき、育成すべき資質・能力へのアプローチが進んだ。また、『授業改善シート』によって児童生徒一人一人の目標・学習評価等を具体化し、単元ごとに観点別の評価規準を設定したことで単元における児童生徒の学習すべき到達目標を明確にすることができた。

### 【府立聾学校】

学部間の公開授業により、全学部の教育実践を全体で共有することができた。そのことにより、高等部卒業後の自立と社会参加に向けた、15年間の教育課程に基づいた年間指導計画の作成、検証を行う基礎を構築できた。また、外部専門家による継続的な指導・助言により、児童等にとって分かる授業を追求でき、今年度1月実施の保護者アンケートでは、『分かりやすい授業ができています』に対して97%の肯定的評価を得られた。

### 【府立丹波支援学校】

授業改善においては、『つきたい力』を発達段階と生活年齢で整理し、授業のねらいと連動させることで授業のねらいをより明確にすることができた。また、地域の方に社会人講師として授業に参加していただくことや、東京オリンピック・パラリンピックと連動した障害者スポーツによる交流を広げるなど、地域の方に本校の教育活動に協力参加していただくと同時に本校も地域社会の一員として地域に貢献していく取組を進めることができた。

## 5 課題と今後の方策

### 【府立八幡支援学校】

『教育課程マネジメント年間指導計画』をさらに活用し、教科・領域別の指導等と交流及び共同学習のつながりについて発展させることが課題となる。3観点の評価規準についての研究も含め、教員同士で日々の授業実践を交流することで追究していく。また、教育課程を社会と共有できる学校づくりを進め、地域社会とつながりながら自立していく児童生徒の姿を保護者や地域社会と共有していく。

### 【府立聾学校】

児童等の15年間のつながりある教育課程の改善に向けて、学部間の実践交流を行い、卒業後を見据えた教育のあり方について全教員が意識を高めることができた一方で、教員一人一人の意識改革やPDCAサイクルによる授業改善には至っておらず、年間指導計画の作成、検証を引き続き行うとともに、児童等にとって分かりやすい授業を具体的に進めるための『授業改善シート』について研究を進める。

### 【府立丹波支援学校】

授業改善研究をとおして「3観点（知識・理解、思考・判断・表現、主体的な学び）」を踏まえた目標と評価の設定は、どのようにするのかといった新たな課題を明らかにすることができた。授業参観の際に配布する『授業ガイド』の作成など、保護者をはじめ地域の方に授業をとおして本校教育の全体像を見つめていただくことを前提にした授業改善研究を進める。